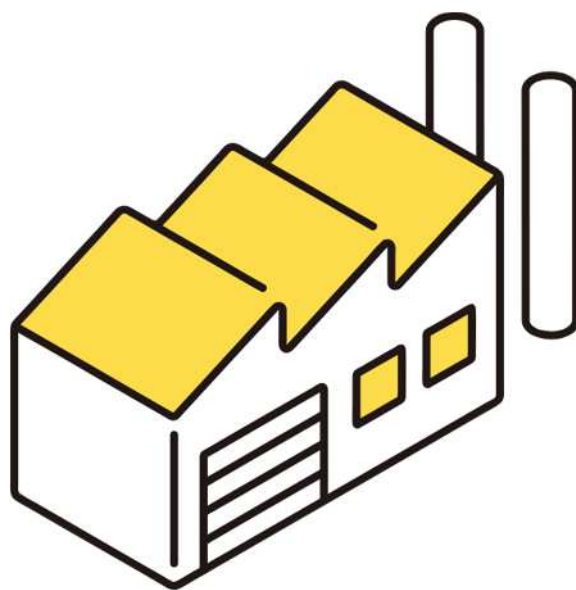


令和7年度 恵庭市多文化共生アンケート 結果報告書 (企業・団体)



令和8年6月
恵庭市

目次

1. 調査概要.....	1
2. アンケート調査結果.....	2
Q1. 日本人も含めた全体の在籍状況について教えてください。.....	2
Q2 外国籍従業員の在籍状況について教えてください。.....	2
Q3 いつから外国籍従業員の雇用を始めましたか？(1つ選択).....	4
Q4.外国籍従業員の受入時に困ったことは何ですか？(複数選択可).....	4
Q5 外国籍従業員を雇用する理由は何ですか？(1つ選択).....	5
Q6 今後の外国籍従業員の雇用について教えてください。(1つ選択).....	5
Q7 必要とする人材はどんな方ですか？(1つ選択).....	6
Q8 外国籍従業員の受入れ(採用)方法について教えてください。(複数選択可).....	6
Q9 外国籍従業員の受入れ(採用)に関しての課題は何ですか？(複数選択可).....	7
Q10 外国籍従業員の日本語の習得状況について教えてください。(自由記述).....	7
Q11 外国籍従業員の日本語教育はどのようにされていますか？(1つ選択).....	8
Q12 外国籍従業員は町内会等地域住民と交流はしていますか？(1つ選択).....	8
Q13 今後、町内会等地域住民とどのような交流をしていきたいと考えていますか？(自由記述).....	9
Q14 外国籍住民受入れに関して自治体に求めることは何ですか？(複数選択可).....	9
Q15 外国籍従業員の受入れ等についてのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。(自由記述).....	10
参考:アンケート調査票.....	11

1. 調査概要

恵庭市に暮らす外国籍住民の実態を把握し、統計結果を市の様々な施策に反映させ、多文化共生事業の推進を図っていく基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

	アンケート調査概要
調査目的	恵庭市に暮らす外国籍住民の実態を把握し、多文化共生事業の推進を図っていく基礎資料とするため
調査時期	令和 8(2026)年 1 月 26 日(月)～令和 8(2026)年 2 月 28 日(土) ※期日を過ぎても複数の回答があったため、できるだけ多くの意見を反映することを優先し、3 月 16 日回収分までを有効回答とした。
調査対象	市で把握している外国籍従業員雇用企業・団体等(教育機関含む) 81 社
調査方法	調査票を活用して実施
設問	- 外国籍従業員の在籍について Q1.日本人も含めた全体の在籍状況について Q2.外国籍従業員の在籍状況について - 外国籍従業員の雇用に関すること Q3.外国籍従業員の雇用開始時期について Q4.外国籍従業員の受入時に困ったこと Q5.外国籍従業員を雇用する理由について Q6.今後の外国籍従業員の雇用について Q7.必要とする人材について Q8.外国籍従業員の受入れ(採用)方法について Q9.外国籍従業員の受入れ(採用)に関しての課題について - 外国籍従業員の日本語習得に関すること Q10.外国籍従業員の日本語の習得状況について Q11.外国籍従業員の日本語教育について - 地域との交流に関すること Q12.町内会等地域住民との交流について Q13.今後の町内会等地域住民との交流について - その他 Q14.外国籍住民受入れに関して自治体に求めること Q15.外国籍従業員の受入れ等についての意見・要望
回答者数	調査票での回答 紙での回答 30 件、WEB での回答 15 件、合計 45 件 回収率 55.6%
注意事項	図表中の上段は回答者件数、下段は構成比(%)を表している。 図表中の「N」は母集団、「SA」は単数回答、「MA」は複数回答、「FA」は自由回答を表している。 図表中の構成比(%)については、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計は 100.0%にならない場合がある。 母集団全体の中での比率を求めるため、無回答は「無回答」として集計している。 表中に、最も多い回答に青色■、次いで多い回答にオレンジ色■、3 番目に多い回答に灰色■の色を付けている。 複数回答については、回答者数を N(母集団)とするため 100%を超える場合もある。

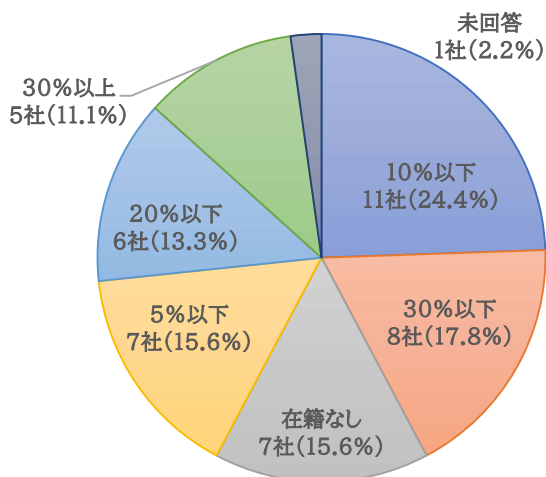
2. アンケート調査結果

【外国籍従業員の在籍について】

Q1. 日本人も含めた全体の在籍状況について教えてください。

日本人も含めた全体の在籍人数のうち、外国籍従業員数の割合を算出。外国籍従業員在籍占率は「10%以下」が11社(24.4%)で最も多く、次いで「30%以下」が8社(17.8%)、「5%以下」及び「在籍なし」が7社(15.6%)となっている。

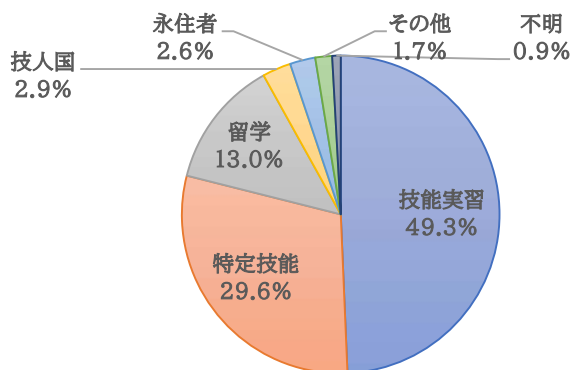
図表 1 外国籍従業員数在籍占率(SA,N=45)



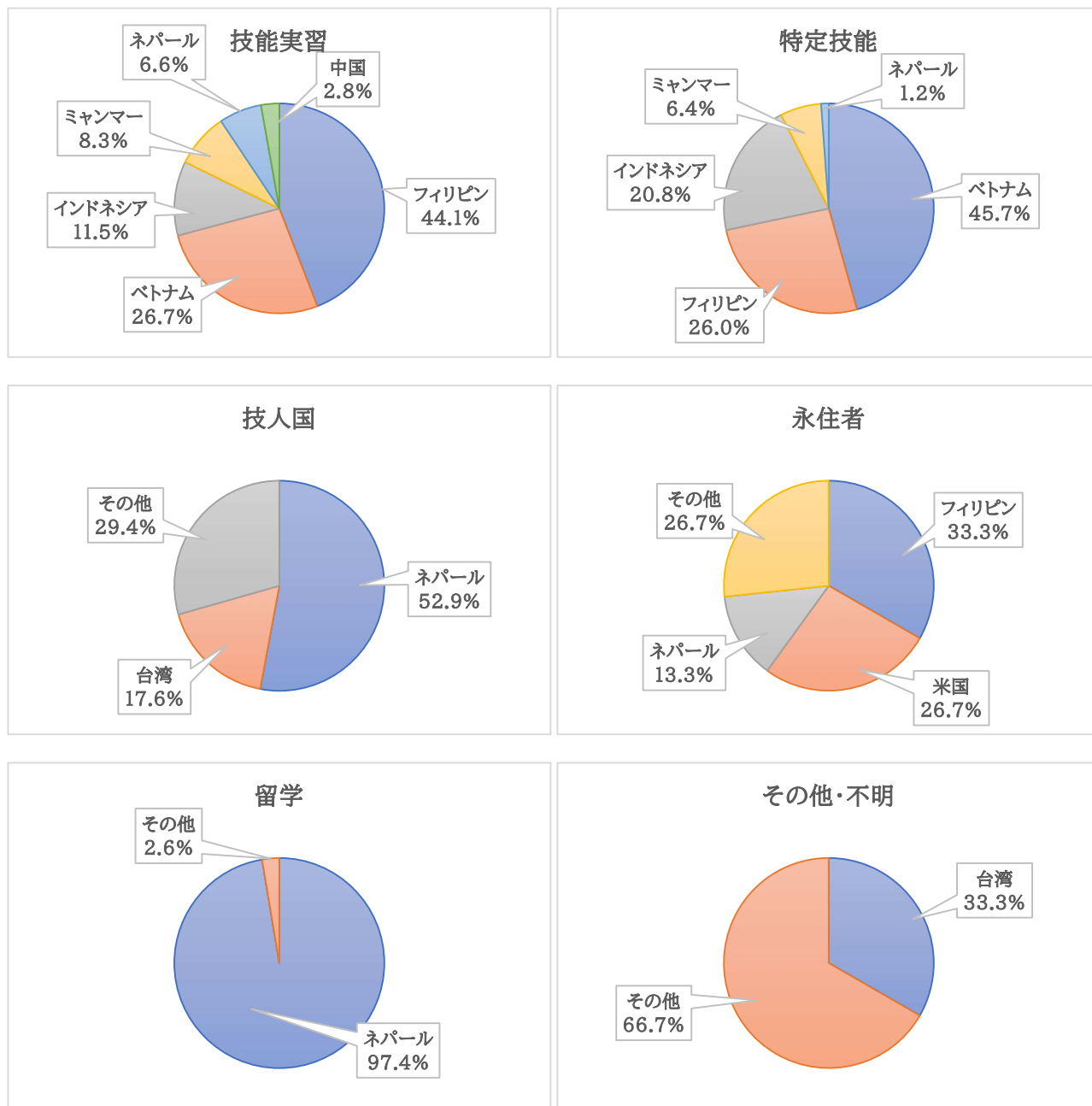
Q2 外国籍従業員の在籍状況について教えてください。

- 令和8年2月末時点の恵庭市在住外国人(1,301人)に対し、584名の在籍を確認(補足率44.8%)。在籍状況は、「技能実習」が49.3%で最も多く、次いで「特定技能」が29.6%、「留学生」が13.0%となっている。
- 図表 2-2 に記載のとおり、在留資格別で見ると、それぞれ「技能実習」はフィリピンが44.1%、「特定技能」はベトナムが45.7%、「技術・人文知識・国際業務(技人国)」はネパールが52.9%、「永住者」はフィリピンが33.3%で最も高い結果となった。

図表 2-1 外国籍従業員在籍状況(SA,N=584)



図表 2-2 外国籍従業員在籍状況(在留資格別)(SA,N=584)

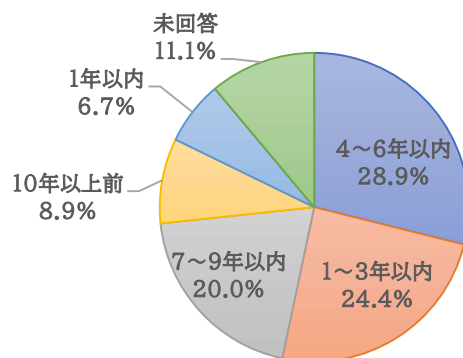


【2.外国籍従業員の雇用に関すること】

Q3 いつから外国籍従業員の雇用を始めましたか？(1つ選択)

外国籍従業員の雇用開始は「4～6年以内」が最も高く28.9%、次いで「1～3年以内」が24.4%、「7～9年以内」が20.0%となっている。

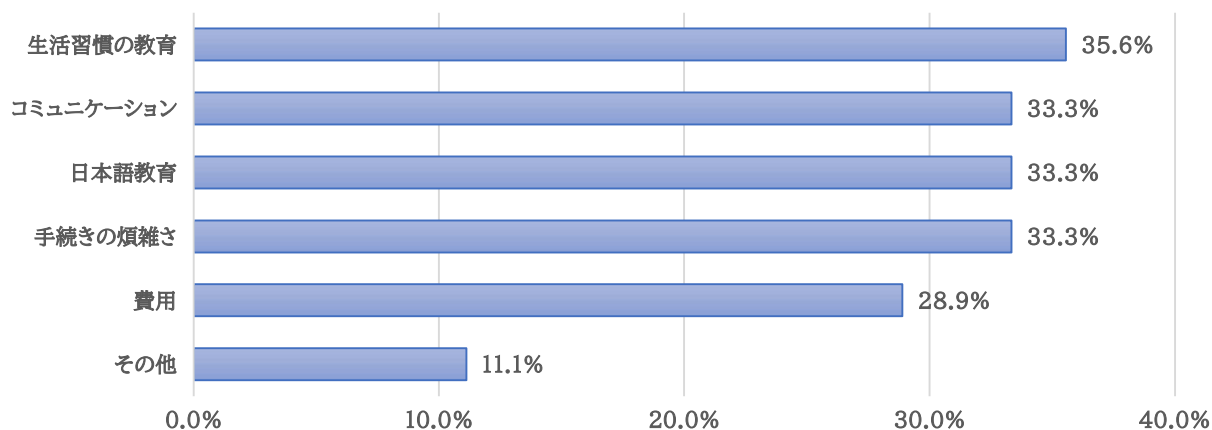
図表3 年齢(SA,N=45)



Q4.外国籍従業員の受入時に困ったことは何ですか？(複数選択可)

外国籍従業員の受入時に困ったことは「生活習慣の教育」が最も高く35.6%であり、同率で「コミュニケーション」「日本語教育」「手続きの煩雑さ」が33.3%となっている。

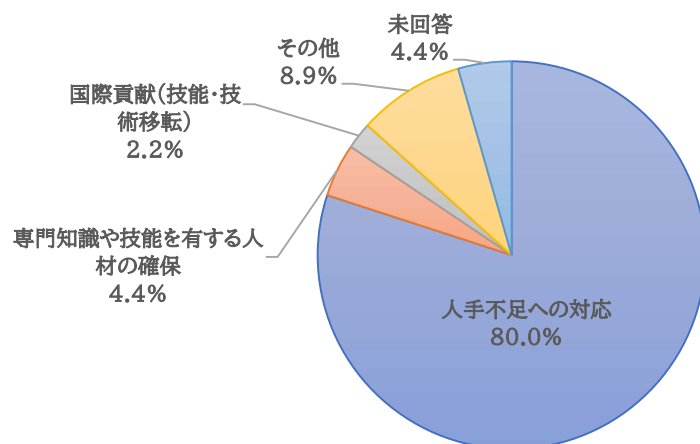
図表4 受入時に困ったこと(MA,N=45)



Q5 外国籍従業員を雇用する理由は何ですか？(1つ選択)

外国籍従業員を雇用する理由は「人手不足への対応」が最も高く80.0%と大半を占めている。

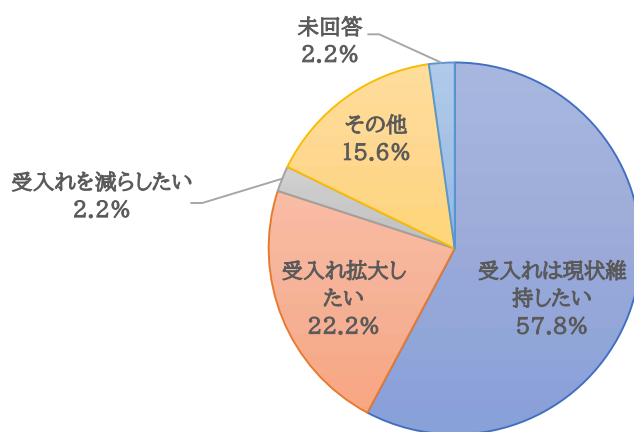
図表5 外国籍従業員を雇用する理由(SA,N=45)



Q6 今後の外国籍従業員の雇用について教えてください。(1つ選択)

今後の外国籍従業員の雇用については、「受入れは現状維持したい」が57.8%と最も多く、次いで「受入れ拡大したい」が22.2%となった。

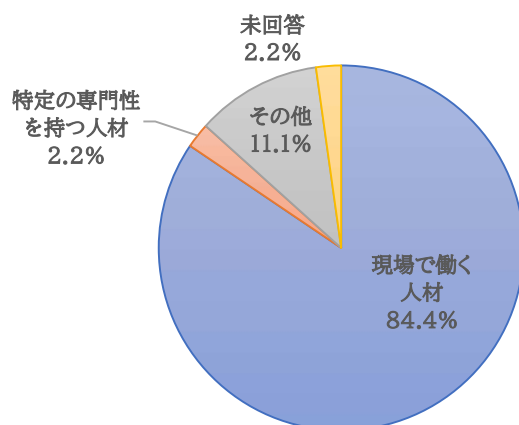
図表6 今後の外国籍従業員の雇用について(SA,N=45)



Q7 必要とする人材はどんな方ですか？(1つ選択)

必要とする人材については「現場で働く人材」が最も高く84.4%となっている。

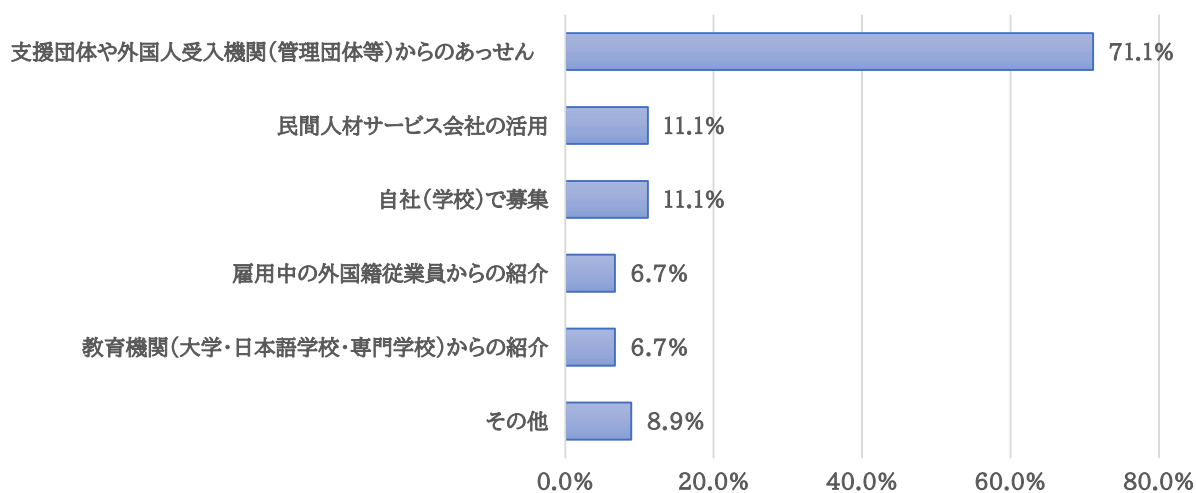
図表 7 必要とする人材について(SA,N=45)



Q8 外国籍従業員の受入れ(採用)方法について教えてください。(複数選択可)

外国籍従業員の受入れ(採用)方法については「支援団体や外国人受入機関(管理団体等)からのあっせん」が最も高く71.1%、次いで「民間人材サービス会社の活用」及び「自社(学校)で募集」が11.1%となっている。

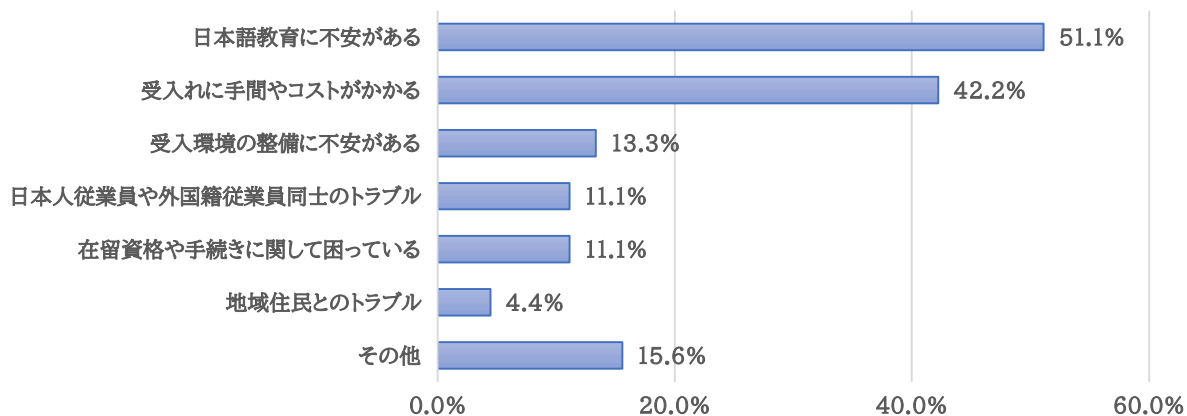
図表 8 受入れ(採用)方法(MA,N=45)



Q9 外国籍従業員の受入れ(採用)に関しての課題は何ですか？(複数選択可)

外国籍従業員の受入れ(採用)については「日本語教育に不安がある」が最も高く 51.1%、次に「受入れに手間やコストがかかる」が42.2%となっている。

図表 9 外国籍従業員の受入れ(採用)の課題(MA,N=45)



【3.外国籍従業員の日本語習得に関すること】

Q10 外国籍従業員の日本語の習得状況について教えてください。(自由記述)

- ・ 外国籍従業員の日本語習得状況については36件の回答が得られ、回答の内容別で分類して集計を実施した。(1社が複数の回答もあり)
- ・ 国籍や業種、日本への滞在歴で日本語レベルが異なる。
- ・ 多くは簡単な日常会話をできるが、読み書き・漢字が苦手な人が多い傾向がある。
- ・ 中には同じ国の人が多い環境もあり、仕事・生活をする上で困らない人は日本語を覚えようとしなない人もいる。
- ・ 日本語レベルはN1～N5までであるが、合格のハードルが高く「話せる＝日本語レベルが高い」とはいかない。

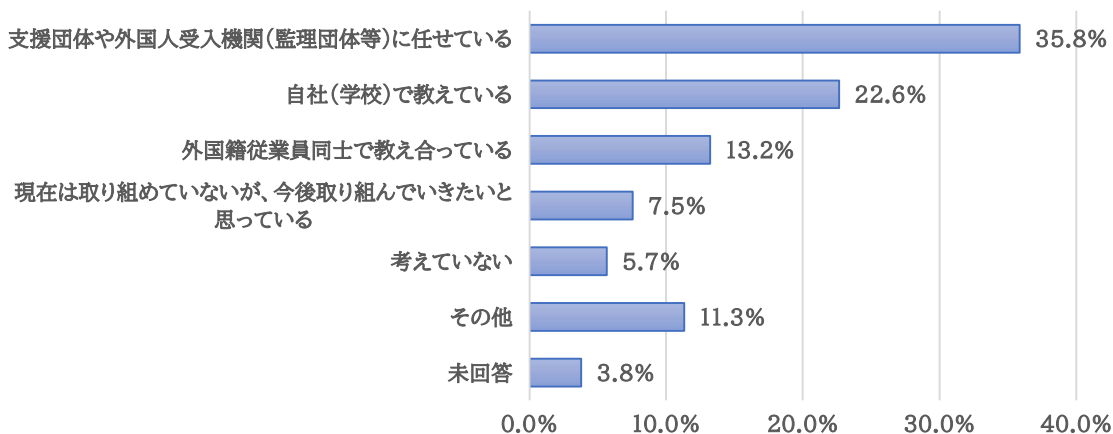
図表 10 日本語の習得状況(FA,N=36)

日本語能力試験レベルでの回答 (13 件)	・入社前 N5、入社 1 年～3 年以内に N4、入社 3 年～5 年で N3 程度 ・N4 合格のハードルが高い
日常会話についての回答 (21 件)	・日常会話は問題なかった。 ・日本人従業員とのコミュニケーションの中から、2 年目からは会話を楽しむことができる子が多い。
読み書き・リスニングについて (10 件)	・漢字の読み書きが苦手な人が多い。 ・日本語での連絡(メール、ラインなど)は全員出来る。 ・申し送りや専門用語、漢字の理解は自身で翻訳しながら対応している。 発語には問題ないが、聴解での理解が異なる事があるので繰り返し理解を求めることがある。
その他 (5 件)	・個人差が大きくなってきている ・技能実習生について、全員同じ国から受入しているため、一期生以降は日本語の習得が進まない。(先輩に頼る為、困らない)

Q11 外国籍従業員の日本語教育はどのようにされていますか？(1つ選択)

- ・ 単数回答の設問であったが、「その他」の回答について6割が選択肢の中から1つに絞ることができず、複数選択の回答となったため、複数回答として集計を行った。
- ・ 外国籍従業員の日本語教育については「支援団体や外国人受入機関(監理団体等)に任せている」が 35.8%と最も高く、次いで「自社(学校)で教えている」が 22.6%、「外国籍従業員同士で教え合っている」が 13.2%という結果となった。

図表 11 外国籍従業員の日本語教育(MA,N=45)

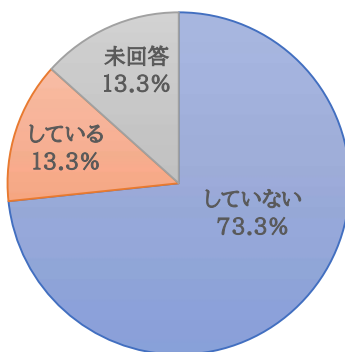


【4. 地域との交流に関すること】

Q12 外国籍従業員は町内会等地域住民と交流はしていますか？(1つ選択)

- ・ 町内会等地域住民との交流について「していない」が73.3%、「している」が13.3%となり、多くの外国籍従業員が地域との交流を行っていないことが分かる。
- ・ 具体的な交流事例として、市や大学等が実施するイベントや日本語ひろばへの参加、町内会の盆踊り、ごみゼロクリーンウォーキングへの参加が挙げられた。

図表 12 町内会等地域住民との交流(SA,N=45)



Q13 今後、町内会等地域住民とどのような交流をしていきたいと考えていますか？(自由記述)

今後、町内会等地域住民とどのような交流をしていきたいかについては、町内会や市主催のイベントへの参加をさせたいという声が多く挙がった。一方で、参加をさせたいがシフト制や距離などの理由から参加が難しいという声もあった。

また、「本人に任せている」、「交流を考えていない」など、企業としては交流についてはあまり考えていない回答もあった。

図表 13 今後の町内会等地域住民との交流について(FA,N=21)

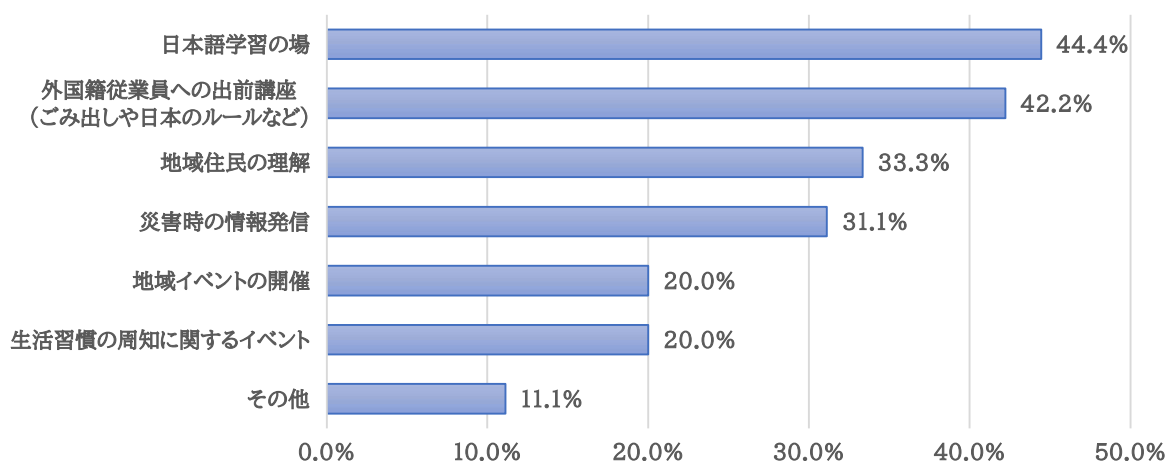
イベントへの参加	・町内会のイベント参加 ・町内で行っている盆踊りや、公園などでできる雪あそびなどで一緒に交流できればと思う。 ・特に考えていないが市内イベント(お祭り)などには日本人スタッフが同行し連れて行っている ・イベント等には積極的に参加させていきたいが、シフト制なのでなかなか難しい
町内会について	・町内会会長等への挨拶と受入理解協力の依頼
その他	・仕事が多忙かつ遠方のため、なかなか交流するのは難しいのが現状 ・職場と住居が離れているので、個人に任せているのが現状です。 ・今の所、考えていない ・まわりに迷惑をかけなければ、交流についてはあまり考えていない ・外国人本人が望むのであれば、交流をさせたい

【5. その他】

Q14 外国籍住民受入れに関して自治体に求めることは何ですか？(複数選択可)

- ・ 外国籍住民受入れに関して自治体に求めることについては、「日本語学習の場」が 44.4%と最も高く、次いで「外国籍従業員への出前講座(ごみ出しや日本のルールなど)」が42.2%、「地域住民の理解」が33.3%、「災害時の情報発信」が31.1%となった。
- ・ その他への回答は、「国籍を問わず、恵庭市で就労する事に対する魅力や支援の向上」や「ベトナム語でのゴミ分別方法」など具体的な意見が挙がった。

図表 14 外国籍住民受入れに関して自治体に求めること(MA,N=45)



Q15 外国籍従業員の受入れ等についてのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。(自由記述)

- ・ 外国籍従業員の受入れ等についての意見・要望では、10件の回答があり、意見を費用面・多言語表記・その他に分類して集計を行った(内容が多岐にわたるものは、複数回答として処理)。
- ・ 「費用面」についての回答が最も多く、企業及び登録支援機関等の負担が大きいことや、受け入れるための経費についての支援要望、国の制度についての要望が挙がった。
- ・ 「多言語表記」については各所への表記の希望が挙がった。

図表 15 外国籍従業員の受入れ等についての意見・要望(FA,N=10)

費用面について	・地域の空き家を使用したい ・公共設備やエコバスを一定の回数、無料で使用できないか？ ・住むための必要物(テレビ、洗濯機、掃除機、ベッド、炊飯器等)について中古品の斡旋など集められる仕組みやリサイクル品への活用をしてほしい。 ・運転免許がないので公共交通機関の料金を優遇するなどの措置 ・社会保険料負担の軽減(特定技能は最長5年で帰国が多いため厚生年金は必要ない)
多言語表記について	・日英並記の文章、案内が増えると理解を得やすい。 ・医療機関を受診した際の外国語のサポート(翻訳機等) ・アンケートの外国語版
その他	・行政の相談窓口

参考:アンケート調査票

2025 年恵庭市多文化共生アンケート【企業・団体向け】

恵庭市に住んでいる外国人または外国人を雇用している企業・団体の皆様にアンケートのお願いです。
 下の Q1～Q15の質問につきまして、該当する項目にチェックを入れる、または回答欄にご記入ください。
 また、オンライン回答を希望の方は、アンケート末尾の二次元コードからご回答ください。
 なお、学校法人につきましては1企業としてご回答ください。

企業名	事業所名	業種

外国籍従業員の在籍について

Q1.日本人も含めた全体の在籍状況について教えてください。(それぞれ記入)

在籍状況				
性別	男性 () 名	女性 () 名	その他 () 名	
雇用形態	正社員 () 名	契約社員 () 名	パート・アルバイト () 名	その他 () 名

Q2.外国籍従業員の在籍状況について教えてください。(それぞれ記入)

在籍状況				
性別	男性 () 名	女性 () 名	その他 () 名	

<国籍・在留資格> ※各欄に国籍・在籍人数を記載ください。

国籍	在留資格					
	技能 実習	特定 技能	技・人 ・国	永住 者	留学	その他 (各欄に記載ください)
(例)ベトナム	20	15	3	1	1	日本人の配偶者(1名)、企業内転勤(3名)
ネパール						
ベトナム						
フィリピン						

外国籍従業員の雇用に関すること

Q3.いつから外国籍従業員の雇用を始めましたか？(1つ選択)

- ☐ 1年以内 ☐ 1～3年以内 ☐ 4～6年以内 ☐ 7～9年以内 ☐ 10年以上前

Q4.外国籍従業員受入時に困ったことは何ですか？(複数選択可)

- ☐ 手続きの煩雑さ ☐ 日本語教育 ☐ 生活習慣の教育 ☐ コミュニケーション
☐ 費用 ☐ その他()

Q5.外国籍従業員を雇用する理由は何ですか？(1つ選択)

- ☐ 人手不足への対応 ☐ 専門知識や技能を有する人材の確保 ☐ 海外進出のため
☐ 国際貢献(技能・技術移転) ☐ その他()

Q6.今後の外国籍従業員の雇用について教えてください。(1つ選択)

- ☐ 受入れ拡大したい ☐ 受入れは現状維持したい ☐ 受入れを減らしたい
☐ その他()

Q7.必要とする人材はどんな方ですか？(1つ選択)

- ☐ 現場で働く人材 ☐ 特定の専門性を持つ人材 ☐ 経営を担う中核人材
☐ その他()

Q8.外国籍従業員の受入れ(採用)方法について教えてください。(複数選択可)

- ☐ 支援団体や外国人受入機関(管理団体等)からのあっせん
☐ 教育機関(大学・日本語学校・専門学校)からの紹介
☐ 自社(学校)で募集
☐ 民間人材サービス会社の活用
☐ 雇用中の外国籍従業員からの紹介
☐ その他()

Q9.外国籍従業員の受入れ(採用)に関しての課題は何ですか？(複数選択可)

- ☐ 日本語教育に不安がある
☐ 受入環境の整備に不安がある
☐ 在留資格や手続きに関して困っている
☐ 受入れに手間やコストがかかる
☐ 日本人従業員や外国籍従業員同士のトラブル
☐ 地域住民とのトラブル
☐ その他()

外国籍従業員の日本語習得に関すること

Q10.外国籍従業員の日本語の習得状況について教えてください。(自由記述)

(ex. 日常会話ができる従業員が多い、N3(5名)、会話はできるが読み書きはまあまあ など)

Q11.外国籍従業員の日本語教育はどのようにされていますか？(1つ選択)

- ☐ 支援団体や外国人受入機関(監理団体等)に任せている
- ☐ 自社(学校)で教えている
- ☐ 外国籍従業員同士で教え合っている
- ☐ 現在は取り組めていないが、今後取り組んでいきたいと思っている
- ☐ 考えていない
- ☐ その他()

地域との交流に関すること

Q12.外国籍従業員は町内会等地域住民と交流はしていますか？(1つ選択)

- ☐ している ☐ していない

<「している」と答えた方は、具体的に地域とどのような交流をしているか教えてください。>

(ex. 町内会へのイベント参加、市主催のイベントへの参加をしている など)

Q13.今後、町内会等地域住民とどのような交流をしていきたいと考えていますか？(自由記述)

(ex. 町内会へのイベント参加、子どもたちとの文化交流 など)

その他

Q14.外国籍住民受入れに関して自治体に求めることは何ですか？(複数選択可)

- ☐ 日本語学習の場 ☐ 地域住民の理解 ☐ 災害時の情報発信
☐ 外国籍従業員への出前講座(ごみ出しや日本のルールなど)
☐ 生活習慣の周知に関するイベント ☐ 地域イベントの開催
☐ その他()

Q15.外国籍従業員の受入れ等についてのご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力いただきましてありがとうございました。

ご回答いただいた内容は、恵庭市の多文化共生事業推進のための貴重な資料として活用させていただきます。
なお、個別の企業名については恵庭市での把握にとどめ、公表はいたしません。
引き続き、恵庭市における多文化共生事業へのご協力よろしくお願いいたします。

インターネットで回答をする場合

【締切:2026年2月16日(月)23:59まで】

<URL>

<https://www.harp.lg.jp/toNTnox8>



恵庭市企画振興部企画課 (担当:島瀬)

〒061-1498 恵庭市京町1番地

電 話 0123-33-3131(内線4710)

F A X 0123-33-3137

メール kikaku@city.eniwa.hokkaido.jp